



平成9年度の  
事業計画決まる

## 今年をサポート事業が主流

平成9年度定期総会が4月25日(金)に行われ、活動テーマや事業、予算が審議されました。



教授が授業のお手伝い

今年のテーマは「出あいを創るまち」です。きれいなまち、学校が楽しいまち、人にやさしいまち、楽しいまち、若者が燃えるまち、市民と企業が共生するまち、国際的なまちづくりを進めるために、学校、企業、地域の支援を行います。

多くの市民の出あいや新しい発見、新しい挑戦などの機会を共に創り出していきます。

今年度の主な事業は次の通りです。

市民の活動を支援する事業として広報マンの実力アップを図る「広報マン研修会・中級編」の開催や、公民館やコミセンなど各地域での活動を紹介します、百年塾が地域の中に広ま

ってゆくようにつとめます。

また学校への百年塾の積極的な展開として(仮称)スクールボランティア組織(市民教授による授業のワンポイントサポート)づくりを検討しています。

企業や企業人に対しては、ガイドブックを作成し百年塾のPRをしたり、働く人たちの百年塾の支援につとめます。

### まちづくり出前講座も

百年塾の市役所内委員会では、行政の担当者が地域に足を運ぶ生涯学習出前講座の開設を検討しています。

本部長インタビュー  
日立市長 飯山利雄



### 時代の流れにそった まちづくり

—今年百年塾発足10年の節目の年で、活動のあり方などを振り返る良い機会と考えます。

飯山 企画、実践にあたっては、多面的な見方や考え方をすることが大切だと思います。活動過程で生ずる個人差を、認め合いながら進む寛容さが必要です。しかし、目標を外すことなく他力本願にならないよう心がけ、楽しく活動できることを願っています。

—百年塾を支えるボランティアについてお伺いします。

飯山 こうでなくてはならないという定義はないので、画一的な考え方でなく、お互いを幅広く理解しながら活動しよう心がけることが大切でしょう。

—拠点施設についてのお考えは…

飯山 百年塾の市民主体の取組みは、県内の生涯学習の望ましい姿としてモデル的役割を果たしてきたと思います。これを県生涯学習センターのスタート時点のコンセプトとなるよう知恵を出してほしいと思います。

また、旧記念図書館の一部に移転する百年塾サロンの、自分たちの根拠として、大いに利用されることを望みます。

—21世紀に向かっての構想をお聞かせください。

飯山 時代の流れに即応して世界観や価値観を変えることも必要です。

日々の生活では互いに支え合いと連携を深める歩みが必要になってきます。

日立市を多様性をもった魅力ある都市として、生き生きとしたまちづくりを進める必要があります。

交うモンシロチョウを見て愛らしいと思いつつも、青虫が増えるのが心配になったりもします。「人間だけの都合のよいようにならないのが自然、そこがまたすばらしさでもあります。」と柏木さん。

そうした自然に対する心を、だれもが子どものころから大切にしていきたいものです。

## 自然の中でこんな出あい(1)

市内のさまざまな仲間づくりや出あいを紹介していきます。今回は自然の中での出あいを取り上げました。

### 水遊びできる公園づくりに 子どもとおとなが共同作業

公園の汚れた池をきれいにして、水遊びができるようにしようと、子どもとおとながアイデアを出し合う「ワークショップ」が行われました。「修理(しゅり)公園を考えるワークショップ」に集まったのは、塙山学区の15人の小学6年生と、コミュニティ・PTA・子ども会育成会の役員など8人のおとなたち。

このワークショップには、公私立園・保育園の先生なども参加して、数回開かれてきました。池が汚れる原因は、池に落ちたゴミや落ち葉などが簡単に除去できないこと。これまでのおとなの話合いでは、池の底をコンクリートにして、水深を浅くすればよい、という考え方が有力でした。これに対して子どもたちからは、池の半分を現在のまま残して「魚やオタマジャクシが住めるようにした方がいい」との意見が出ました。子どもとおとながワイワイ話



子どもたちの夢とアイデアいっぱいの公園づくり

し合った結果、どうやら自然愛護派の子どもに落ち着きそうです。

また、橋を架ける、芝スキーができるスロープをつくる、木にターザンロープやハンモックを吊る、などの楽しい案もたくさんありました。

これらを子どもたちが絵に描いて

最終案がまとめられ、近日、市当局の援助を得ながら工事が始まるとのことです。

小公園の改良をめぐる地域の子どものおとなが出合う—それは「地域の教育力」の確かな芽生えでもあります。

### 野菜のできは二次 市民農園

市民農園で野菜づくりを始めてから6年の柏木さん夫妻。以前から自然が好きで登山などをしていたが、定年退職の記念に登ったニュージーランドの山の美しさに感動。自然に親しむ生活をより大切にしています。

野菜づくりは、見よう見まねなので、失敗したり、他の人の畑より成長が一步遅れていることもよくあるそうです。

野菜のでき具合よりも土に触れる



野菜との対話も楽しく

喜びや、周りの畑の人から作り方を教わったり、支柱のシノ竹を分けてもらったり、いろいろな人との出あいが何よりも楽しみです。畑を飛び

### 北部地区市民教授ネットワーク 遊楽フェスタ

北部地区のいろいろな特技や経験を持った市民教授が集うフェスティバルです。

とき 7月12日 正午～午後4時  
7月13日 午前10時～午後3時  
ところ 日高公民館

# 自然の中でこんな出あい(2)

## 遷暦野球でチャレンジ 日立球友会

60歳、遷暦と云えばスポーツの世界ではとっくに第一線から退く年齢であるが、その遷暦を入会資格としている野球チームがあります。この日立球友会のメンバーは38人。毎週火、木、日の3日間、午前中グラウンドで汗を流しています。

茨城県に6チーム、全国では数百チームが野球を通して「出あい」を楽しんでいます。

今年度は、10月の第12回全国大会の県代表を目指して猛練習中。



全国大会めざして

過去の第5回全国大会で準優勝、第6回大会で第3位という輝かしい戦歴もあり、平成7年にはスポーツ振興に尽くしたことで、文部大臣表彰を受けました。

過去は練習するグラウンドがなく市内を転々としていましたが、いまは企業の好意で神峰グラウンドで落ち着いて練習ができるとのこと。

楽しみは、好きな野球を通して旅行、カラオケなどで新しい「出あい」ができること。また全国大会には、奥さんも応援に駆けつけ家族ぐるみの「出あい」の場にもなっているとのことでした。

## 川下りの醍醐味 カヌー愛好者

「カヌーで初めて那珂川を下った時の感動は今でも忘れられない。波に突っ込む時のスリルと乗り切った時の安堵感は心地よい」と語る大坪さん。

川下りの後や練習の後にはたき火を

囲んでの酒宴。さまざまな職業の人との出あいと、みんなが持ちよる山海の珍味もまたおいしく、夏場のキャンプでは満天の星の下で飲み明かし語り合う楽しさも格別とのこと。

また、カヌーを通して他のクラブの人との交流も楽しさを倍増させてくれます。「もっと早くカヌーを始めればよかった」と30代半ばの大坪さん。



川下りを終えてホットひと息

無理をしなければある程度の年代まで続けられるカヌーは、自然とのつき合い方を教えてください。

## 自然好きの集まり 日立山野草同好会

山野草は山野に自然に植生する草花の総称ですが、山野から勝手に採ってきて楽しむわけにはいきません。「自然の山から採ってきて、住宅地の庭ではまず育たない。自然のものは見て楽しむだけだから、同好の

友人と交換したり、園芸品種を育てながら情報交換をすのが同好会です」と会長の下山さん。

とにかく自然が好きなおとなたちの集まりで、会員は88人。40代の若い人たちや、家庭の奥さん方も多く、夫婦会員も7組いるとか。「ペットに犬を飼うのとおなじ、まるで家族です。毎朝起きると庭に出て、自分の育てている山野草にあいさつすることから一日が始まります」とのこと。

年4回の展覧会の他に旅行も大きな行事となっています。チャリティを行い売上金を寄付するなど福祉にも目を向けています。



展覧会で自慢の山野草を披露

## フォーラム 働く人のつどい 私のボランティア

体験談に 参加者も共感

阪神淡路大地震などでクローズアップされてきているボランティアの輪を広げるための、フォーラム「働く人のつどい・私のボランティア」を開催しました。

働きながらボランティア活動をしている男女4人の発言者から、それぞれの活動の喜びや苦労体験など身近で率直な話しが聞けました。参加者からは、自分たちも何らかのかたちで関わってみたい、大変有意義なフォーラムであったなどの感想があ



苦労もあるけど楽しいですよ

りました。これを機に、百年塾企業部会では、働きながらボランティア活動に参加する人が増えるよう、さらに情報提供を続けていきたいと考えています。

## 広報研修会 初級・中級講座

### 初級

主に小・中学校PTA広報委員を対象に行います。

第1回  
とき 5月31日(土)  
午後1時～3時30分  
ところ らぼーるひたち  
内容 初めて編集する人のための虎の巻

第2回  
とき 6月28日(土)  
午後1時30分～4時  
ところ 視聴覚センターホール  
内容 実践! 編集作業

### 中級

各種団体や企業などで広報を担当している人、広報活動に関心のある人の研修会です。どなたでもどうぞ。

とき 7月5日(土)  
午後1時30分～3時30分  
ところ シビックセンター マーブルホール  
テーマ 広報マンの視点  
講師 芝沼隆一さん  
(産経新聞ニュースサービス取締役企画開発本部長)  
申込み 初級、中級とも百年塾サロン  
(☎24-7744)

た温かな人柄が感じられます。

通勤時の車内の混雑、道路の渋滞、悪天候などさまざまな状況の時でも、佐藤さんが運転するバスの中にはいつも温かな空気が流れています。

心の豊かさが失われかけている今の世の中で、こうした日常のさりげないふれあいがいかに必要とされているかを再認識させられる思いです。佐藤さん、どうかこれからもやさしさを運び続けてください。  
(石名坂町 黒澤秀子)

## 講座案内

### ★ラベンダーサークル社ダンス

日時 毎週金曜日午後7時～9時  
場所 東多賀河原子コミュニティセンター  
会費 月1,000円  
対象 男女各10人  
連絡先 吉成 ☎34-0545  
連絡先 大内 ☎36-3108  
(午後5時以降)

### ★少林寺浄法教室

日時 6月1日(日)午前10～12時  
場所 多賀武道館  
対象 中学生以上～一般20名  
講師 加藤栄二(市民教授)  
参加料 無料  
その他 運動着を持参  
損害保険等に加入  
申し込み 5月31日(土)まで  
加藤 ☎38-5036(昼)  
☎43-4460(夜)

★あなたへの応援歌記事募集  
まちの中で出あった、思わず応援したくなる人やできごとを300字程度でお寄せ下さい。(住所・氏名を明記)

## 市民教授 あの人この人

97.2月～97.4月に登録された方(敬称略)

- 安部 勝司 中丸町(オセロ) ■伊藤 良一 若葉町(ローラースケート音楽指導)
- 小川 英敏 日高町(教育全般・英語)
- 小野寺 胡蝶 田尻町(茶道・華道・着付け)
- 加藤 朗 ひたちなか市(作曲)
- 窪木 英一 桜川町(手打ちうどん)
- 久野 弘子 滑川町(ハープ・ポプリ)
- 小池 彪 西成沢町(生涯学習)
- 後藤 繁 滑川本町(書道)
- 鈴木 邦弘 東多賀町(カゴ作り・庭木の手入れ)
- 田島 増陸 石名坂町(戦争体験の話)
- 福岡 保 神峰町(拓本・漢字書道)
- 羽根板 澄江 田尻町(住まいづくりのプランニング・着付け)
- 早坂 知恵子 ひたちなか市(ポプリ作り・ハープクラフト)
- 松井 昌夫 石名坂町(パソコン・ワープロ・語学)
- 八木 真利子 諏訪町(フランス菓子)

百年塾に関するご意見や「ひろば33号」のお問合せなど、百年塾サロンまでお寄せください。  
☎24-7744

## あなたへの応援歌 やさしさを運ぶ人

日立電鉄の路線バスを運転する佐藤栄さんは、とてもすてきな方です。長い間バスを利用し続けている私は、今まで何度となく佐藤さんの運転するバスに乗り合わせてきました。安全で丁寧な運転はもちろんのこと、お年寄りや小さい子、夜道を帰る女性など、乗客の一人一人にかけるところばや心づかいに、職業意識を超え